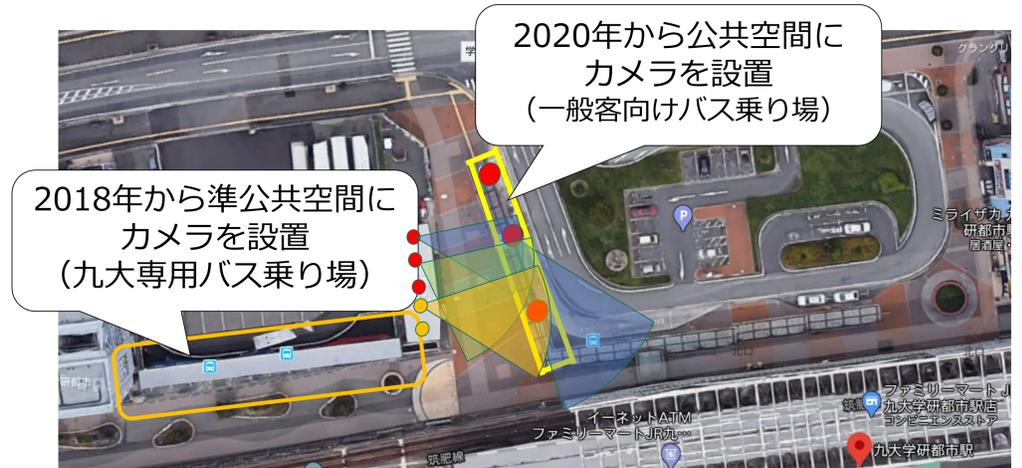


目標

- 交通結節点における安心安全：移動困難者の発見と密の計測
- 公共空間におけるカメラ活用の社会実証：九大学研都市駅

これまでの取り組み

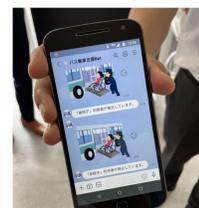
- 九大学研都市駅のバス停（公共空間）にカメラを設置
 - 准公共空間においてリアルタイムに待ち人数を計測
 - 公共空間の移動困難者（車椅子利用者や杖利用者）を検出し、交通事業者業者に通知



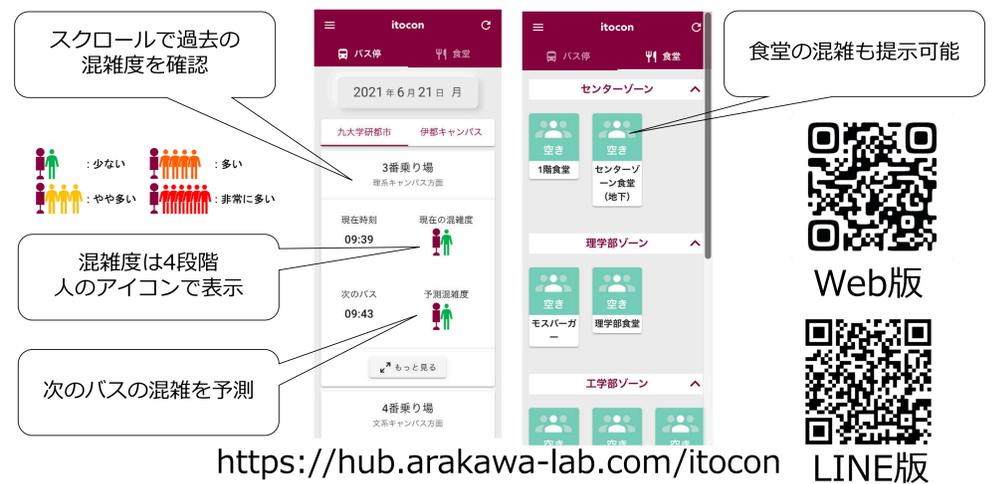
2021年の取り組み

- 福岡市実証実験フルサポート事業
 - バス乗車支援サービスの実証開始

福岡市 実証実験 フルサポート事業



- 混雑度可視化システムitoconの開発
 - Withコロナ時代における時差通学・通勤の支援
 - リアルタイム混雑度 + 過去の混雑度
 - 伊都キャンパス：2万人
 - バス利用：学生の23%/職員50%
 - 駅前バス停の将来の混雑を予測
 - キャンパス内の食堂の混雑度も計測
- CO2センサを追加したバスプローブシステムを地元のバス50台に搭載
 - 安価なデバイス・オープンな管理
 - CO2センサ：混雑度や換気度を計測



スクロールで過去の混雑度を確認

混雑度は4段階人のアイコンで表示

次のバスの混雑を予測

食堂の混雑も提示可能

Web版

LINE版

<https://hub.arakawa-lab.com/itocon>



今後の取組

- 混雑度の可視化と、行動変容の誘発
 - ポイント連携やプッシュ通知などを組み合わせ、混雑度回避行動を促す
- 公共空間でのカメラによる見守りの効用・ビジネスモデル検証
 - 移動困難者に加えて密の計測を加えることで、防犯カメラの付加価値を向上
- バリアフリー車両位置情報提供に向けたバスプローブシステムの実装